

地域密着型金融推進の取り組みについて

(平成27年4月～平成28年3月)

中期経営計画における地域密着型金融推進の位置付け

中期経営計画「Create Chance Create Future」

～福井銀行は地域とともに、お客さまとともに、未来へのチャンスを創り出します～

福井銀行では、平成27年4月から平成30年3月までの3年間について、中期経営計画「Create Chance Create Future」に基づいて、「地域密着型金融の実践」に取り組んでおります。

【中期経営計画「Create Chance Create Future」（平成27年4月～平成30年3月）の概要】

■中期経営計画における地域密着型金融推進の位置付け

この中期経営計画では、地域金融機関として金融サービスを通して、地域の『働く人』『働く場所』を増やすことが、“地域の活性化”すなわち“企業理念”の実現につながるものと位置付けて取り組んでおります。

■中期経営計画の概要

福井銀行の存在意義である“企業理念（※）”の実現に向け、10年後のあるべき姿を「グランドデザイン」として掲げ、「お客さまが『そばにいてほしい』と思う日本一の銀行」を目指してまいります。この中期経営計画では、「目に見える」「一緒に動いている」と感じていただける営業活動の展開と相談・支援体制の構築を軸として、未来へのチャンスを創り出す各種計画を実行してまいります。

※企業理念…「地域産業の育成・発展と地域に暮らす人々の豊かな生活の実現」

目次

本誌では、中期経営計画「Create Chance Create Future」および地域密着型金融推進の取り組み方針に基づいて活動した内容についてご紹介いたします。

- ❖ 法人のお客さまに対するコンサルティング機能の発揮
- ❖ 個人のお客さまに対するコンサルティング機能の発揮
- ❖ 地域の面的再生への積極的な参画
- ❖ 地域や利用者に対する積極的な情報発信

平成28年7月



いつも、いつでも、いつまでも。

福井銀行

法人のお客さまに対するコンサルティング機能の発揮

創業・新規事業開拓支援への取り組み

方針

- ・お客さまとのコミュニケーション強化により、事業ニーズを的確に把握し、最適なソリューションをご提案します。
- ・常に安心・満足してご相談いただけるサービス機能の提供、人材の育成に取り組めます。
- ・多種多様なニーズにお応えするため、地元支援機関や外部機関との連携を強化します。

◆「ふるさと企業育成ファンド」の活用促進

平成23年9月に福井県および県内7金融機関により創設された同ファンド（ファンド総額：100億円、うち当行45億円を無利息貸付）では、「新分野展開スタートアップ支援事業として、経営の多角化や事業転換を図り、新分野への事業展開を行う企業へ助成を行っております。

助成制度の運営母体である公益財団法人ふくい産業支援センター及び福井県内の支援機関（商工会議所・商工会）と連携し、お客さまの事業計画策定支援・申請手続き支援に取り組ましました。

平成27年度採択事業者	11社
うち当行経由による採択事業者	6社

※平成26年度実績
採択事業者：11社
うち当行経由で採択された事業者：5社

◆経営革新等支援機関としての取り組み

経営革新等支援機関として、お客さまの事業計画策定・各種補助金申請手続きのサポートに取り組ましました。

・創業・第二創業促進補助金

～平成26年度補正予算、平成27年度～

福井県内採択事業者	17社
うち当行サポートによる事業者	5社

・ものづくり・商業・サービス革新補助金

～平成26年度補正予算～

福井県内採択事業者	143社
うち当行サポートによる事業者	34社

成長支援への取り組み

方針

- ・ビジネスマッチング活動を通じて、お客さまの新たなビジネスチャンスを創造します。
- ・新たな金融サービス機能の開発により、多様な資金調達方法を提供します。
- ・海外展開や医療・農業などの専門性が高いニーズに対応できる人材を育成します。

◆ビジネス商談会の開催・参加

ビジネス商談会を開催し、お客さまの新たなビジネスチャンスの獲得支援に取り組んでいます。

・あわら・坂井の食談交流会

(平成27年6月 福井開催)

参加企業数：17団体

来場者数：80社、150名

・第6回ネットワーク商談会 IN 大阪

(平成27年10月 大阪開催)

参加企業数：66社（うち当行お取引先：12社）



・地域農業強化セミナー IN 福井

(平成27年8月 福井開催)

参加者数：100名

・越前・若狭 食の國ふくい商談会

(平成28年2月 東京開催)

出展企業：19社 来場者数：78名

・三越伊勢丹バイヤーミーティング

(平成27年8月 東京開催)

参加企業数：14社

◆ビジネスソリューションの取り組み

当行のネットワーク（業務提携先含む）を最大限に活用し、お客さまへ最適なソリューションの提供に取り組ましました。

当行ソリューション案件の登録件数	2,286件
うちソリューション提供に至った件数	1,100件

(平成27年度実績)

◆海外進出支援への取組み

＜バンコク駐在員事務所による現地支援＞

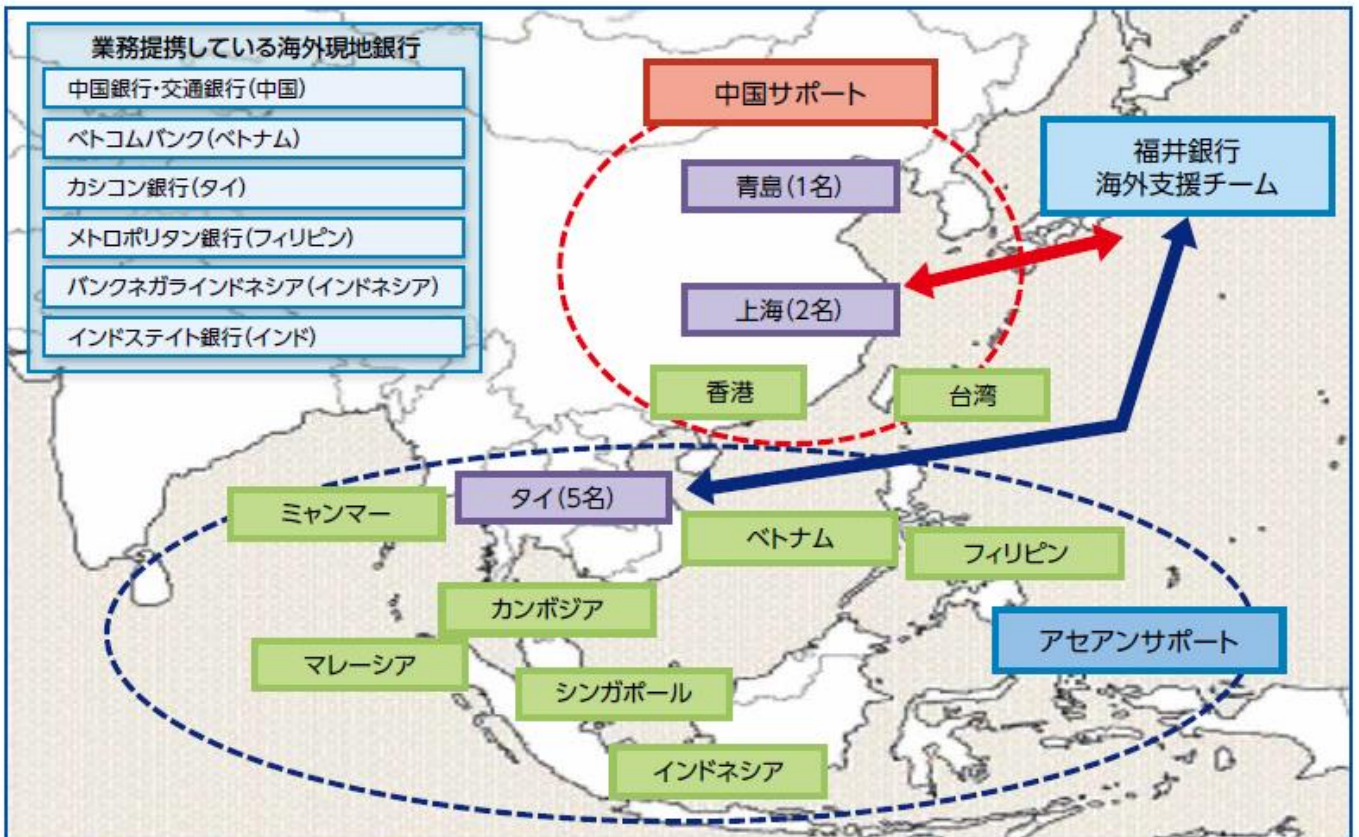
お客さまのアセアン地域への事業展開をより積極的に支援していくために、平成26年11月にアセアン主要国であるタイ王国の首都バンコクに駐在員事務所を開設し、お客さまのアセアンビジネスのご支援を行っております。また、駐在員事務所内に、福井県と共同で「ふくいバンコクビジネスサポートセンター」も開設しています。

＜バンコク駐在員事務所開所1周年記念セミナー＞

タイを中心としたアセアンの成長力を福井に取り込むため、バンコク駐在員事務所の開所1周年を記念してアセアンセミナーを開催しました。アジア各国の最新情報に加え、駐在員による活動報告を行いました。



＜海外への行員派遣・現地銀行との連携状況＞



(平成28年3月末時点)

＜個別相談会開催による海外情報支援＞

お客さまの海外展開に関する課題に対し、各国の専門家が直接回答する個別相談会を開催しました。

・アセアン中国個別相談会

(当行主催：平成27年8月開催)

相談員：株式会社フォーバル

(ベトナム、ミャンマー、カンボジア、インドネシア)
株式会社アーキビジネスサーチ (タイ)

株式会社ビーステップ (中国)

＜商談会＞

・FBC上海2015 (日中ものづくり商談会)

(平成27年9月 上海開催)

参加企業数：493社 (うち当行お取引先：9社)

商談件数：12,000件

・ものづくり商談会@バンコク2015

(平成27年6月 バンコク開催)

参加企業数：207社 (うち当行お取引先：8社)

商談件数：3,656件

＜本部分員の帯同訪問等による支援態勢強化＞

専門知識を持った本部分員が帯同訪問し、海外情報の提供やソリューションの提供、相談支援に取り組みました。

・海外支援チームによる支援件数：807件

(平成27年度実績)

事業承継支援への取り組み

方針

- ・お客さまのニーズを的確に把握し、事業承継計画の策定・実践支援に取り組めます。
- ・本部専門部署の機能強化により、営業店と一体となってお客さまの計画を支援します。
- ・外部専門機関との連携強化により、さまざまな角度からの情報提供に取り組めます。

◆支店長による事業承継相談体制の強化

全支店長が集合研修を受講した上で、専門資格の取得を行い、積極的な事業承継支援に取り組んでいます。

- ・集合研修の受講（平成27年8月）
- ・「事業承継・M&Aエキスパート」資格の取得（平成28年2月）

◆本部行員の帯同訪問等による支援態勢強化

専門知識を持った本部行員が帯同訪問し、事業承継・M&A情報の提供やソリューションの提供、相談支援に取り組んでいます。

- ・本部渉外チームによる支援件数：140件（平成27年度実績）

◆次世代経営塾の開講

平成26年度に引き続いて、「第5期 福銀 次世代経営塾」を開講しました。

本経営塾は自社経営のさらなる発展をめざす次世代経営者の育成を目的としており、外部コンサルタントや県内地元講師と提携し、平成27年度は全9回に亘って講義やグループ討議を行いました。

- ・「第5期 福銀 次世代経営塾」受講者 22名



経営改善、事業再生・業種転換等支援への取り組み

方針

- ・お客さまの経営課題について、財務面・事業面から分析・把握する支援を行います。
- ・お客さまの状況に応じ課題解決のための、最適なソリューションの提案を行います。
- ・ソリューション提案後も訪問活動を通じて、経営改善・事業再生を支援します。

◆経営改善への取組状況

中小企業再生支援協議会との連携のほか、認定支援機関による経営改善計画策定支援事業を活用して、お客さまの経営改善支援・事業再生支援に取り組んでいます。

- ・中小企業再生支援協議会

再生計画策定先	20件
うちメイン行としての案件持込み数	6件
現在進行中の案件	9件

（平成27年度実績）

- ・認定支援機関による経営改善計画策定支援事業

利用申請済み先	25件
---------	-----

（平成27年度実績）

◆経営改善への取組状況

平成25年3月をもって金融円滑化法は終了しましたが、当行の取組姿勢に変更はございません。今後もお客さまからのご相談に真摯かつ迅速に対応していきます。

- ・中小企業者

申込累計件数	23,847件
対応累計金額	8,404億円

（平成21年12月～平成28年3月末までの累計実績）

- ・住宅ローン

申込累計件数	1,199件
対応累計金額	196億円

（平成21年12月～平成28年3月末までの累計実績）

個人のお客さまに対するコンサルティング機能の発揮

方針

- ・お客さまのニーズを把握し、安心して選んでいただけるサービス・商品を提供します。
- ・お客さまが安心してご相談いただける人材を育成します。
- ・お客さまにご満足していただける分かりやすい説明を心掛けます。

◆地域活性化基盤づくりで福井新聞社と業務提携

当行と株式会社福井新聞社は、多機能型ICカードを軸とした地域活性化基盤「ふくい価値創造プラットフォーム」を構築する事業に取り組みます。「ふくい価値創造プラットフォーム」に基づき、平成28年4月から全国で使える電子マネーサービスと独自の地域サービスを一体で提供するカード「JURACA(ジュラカ)」をスタートさせます。それに先立ち、平成28年3月22日からインターネットバンキング・当行ホームページにて先行申込みの受付を開始しました。

◆セミナーの開催

お客さまのライフステージに応じたセミナーを開催し、各種情報の提供を行いました。

・ふくぎん フレッシュャーズセミナー2015

平成27年4月に新社会人となった方を対象として、「ふくぎん フレッシュャーズセミナー2015」を開催しました。

4回目の開催となる今年度は、128社692名の新社会人の方々が参加しました。



・資産運用セミナー

多様化するお客さまの資産運用ニーズにお応えするため、情報提供の場として「お客さまセミナー」を開催しました。

(平成27年度6回開催)

◆相談拠点の充実

・敦賀支店ほけんプラザ 新規オープン

保険の見直しなどコンサルティング営業を行う「ほけんプラザ」を、ナチュラプラザ福井に次ぐ2カ所目として敦賀支店内にオープンしました。対象地域のお客さまに、ライフステージ・ライフプランに応じた保険設計等のサービスをご提供します。

・休日相談会プラザ ベル オープン

毎週日曜日に休日の相談拠点として「休日相談会 ベル」を開催しておりましたが、営業日を毎週土日に拡大し、より利便性の高い相談拠点として「休日相談プラザ ベル」をオープンしました。

上記以外にも、県内5・県外3の営業店で休日相談会を開催しております。

◆通帳・カードのデザインをリニューアル

平成28年2月から「総合口座通帳」と「ICキャラクターキャッシュカード」を「福井の自然」をテーマとしたデザインにリニューアルしました。イラストは、福井県の越前町に拠点を置いて活動中のイラストレーター「松尾たいこ」氏の書き下ろしです。



◆キャンペーンの実施と新商品の取扱開始

<キャンペーンの実施>

・ふくふくキャンペーン

(春:平成27年3月～5月、平成28年2月～5月実施)

(夏:平成27年6月～8月実施)

(冬:平成27年11月～平成28年1月実施)

・住宅ローンお借換えキャンペーン

(平成27年7月～9月実施)

(平成27年12月～平成28年3月実施)

・マイカーローンキャンペーン

(平成27年8月～10月、平成28年1月～4月実施)

・iica JCBカードキャンペーン

(平成27年7月～8月、平成27年11月～平成28年1月実施)

・教育ローンキャンペーン

(平成27年9月～平成28年4月実施)

・ジュニアNISAキャンペーン

(平成28年1月～9月実施)

・米ドル建外貨定期預金キャンペーン～ふたつの翼～

(平成28年2月～3月実施)

・かた大國福井・川崎名人誕生記念プレゼントキャンペーン

(平成28年3月実施)

<新商品・新サービスの取扱開始>

・みんなで応援★定期預金 (取扱期間:平成27年4月～6月)

・森もり定期預金 (取扱期間:平成27年11月～平成28年1月)

・外貨普通預金つみたてプラン (平成27年4月取扱開始)

・バランスパック・バランスパックN・バランスパックG

(取扱期間:平成27年9月～平成28年12月)

・年金ハッピー定期 (取扱期間:平成27年2月～平成28年1月)

・退職プレミアム定期 (取扱期間:平成28年2月～平成29年1月)

・ジュニアNISA (平成28年1月取扱開始)

・ローンカード店頭即時発行サービス導入

(平成28年3月取扱開始)

地域の面的再生への積極的な参画

方針

- ・ 地域経済のシンクタンクの役割を担うべく、情報の収集・蓄積・発信を行います。
- ・ 地域の産業調査による面的再生に向けた情報支援を行います。
- ・ 新たなビジネスチャンスへの提言を行います。
- ・ 金融経済教育の提供や企業見学の受け入れにより金融知識の普及・啓蒙に取り組みます。

◆地域のシンクタンクとしての取り組み

地域のシンクタンクとしての役割を果たすべく、景況アンケート・地域の経済情報・トピック情報・統計資料などを盛り込み「福銀ジャーナル」を四半期毎に作成し、情報発信に努めています。

◆地元産業活性化に向けた取り組み

平成24年度より、大阪府および財団法人大阪産業振興機構が運営する「ものづくりB2Bネットワーク」に参加しています。

当行は本ネットワークへの参加を通して、当行とお取引のある製造業のお客さまに有益な情報提供に取り組んでいます。

◆まち・ひと・しごと創生に向けた取り組み

地方公共団体・地元支援機関・地元大学と密に情報交換を行うなど、産学官連携による地域資源の有効活用および地域経済の活性化実現に向けて積極的に取り組んでいます。

<地元大学との協定締結、行員派遣>

・地元大学との包括協定締結

産学官連携の推進に向けて、以下の大学と協定を締結しています。

福井大学、福井県立大学、福井工業大学

・福井大学への行員派遣

福井大学と当行のパイプ役として行員1名を福井大学のURAオフィスに派遣しています。

<観光ファンド設立>

平成27年8月パイロット地域（福井県小浜市）及び福井県内において、観光資源の強化および観光消費額の増大を図ることを目指し、福井キャピタル&コンサルティング（平成27年7月新設）及びREVICキャピタルを無限責任組合員として、地域経済活性化支援機構と「ふくい観光活性化投資有限責任組合」を設立しました。

<ふくいオープンイノベーション推進機構への参画>

「ふくいオープンイノベーション推進機構」は、大学・公設試・銀行等の人材が、企業の開発ニーズに対応するため、チームで応援するオープンな仕組みとして、平成27年6月に福井県工業技術センターに設置されたものです。当行も連携機関として参画しています。

<PPP/PFI・公的資産マネジメント・地方創生支援セミナー>

北陸財務局、株式会社日本政策投資銀行とともに、福井県内の地方公共団体、金融機関、民間事業者等の皆様を対象としたPPP/PFI（注）の推進、公的資産マネジメントの支援および地方創生に向けたセミナーを開催しました（平成27年9月開催）。

（注）PPP(Public Private Partnership：パブリック・プライベート・パートナーシップ)とは、行政主体による公共サービスを、行政と多様な構成主体との連携により提供していく新たな考え方。民間委託、PFI、指定管理者制度、民営化、地域共同、産学公連携等を含めた公民連携手法の総称。

PFI(Private Finance Initiative：プライベート・ファイナンス・イニシアティブ)とは、公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力および技術的能力を活用して行う新しい手法。



<地方創生特別講演会>

敦賀市と平成27年8月10日に締結した「包括的地域連携に関する協定」に基づき、「まち・ひと・しごと」の創生と地域経済の持続的好循環の確立に向けた取り組みの一環として、観光活性化による地方創生に向けた特別講演会を大阪観光局理事長（元観光庁長官）である溝畑宏氏をお招きし、「観光立国と地方創生で福井を元気に！」というテーマで開催しました（平成27年12月開催）。



◆公益財団法人福井銀行教育福祉財団 による寄附事業

公益財団法人福井銀行教育福祉財団は、当行の役員で構成していた「保堂会」という任意団体が設立母体となって設立した法人が、平成25年10月に名称変更した公益財団法人です。

教育の振興および福祉の向上に寄与することを目的として、毎年春と秋に福井県内の学校教育関係団体や社会福祉関係団体等に対して寄附事業を実施しています。

平成27年度は、計31団体に総額562万円を寄贈しました。

◆金融知識の普及・啓蒙

教育機関への講師派遣による金融経済講座の開催や、職場見学・啓蒙を通して、地域の明日を担う人材の育成のお手伝いに取り組んでいます。

・金融経済教育講座、職場見学の受入れ実績

小・中学生	19校 (19回)	79名 が参加
高校生	17校 (24回)	1,420名 が参加
大学生	4校 (7回)	498名 が参加



地域や利用者に対する積極的な情報発信

方針

- ・地域密着型金融の取組み状況について、積極的かつ具体的に情報発信します。
- ・地域のお客さまへ福井銀行が有する情報、ノウハウを積極的に発信します。

◆地域密着型金融の取組み状況の 積極的な情報発信

「福銀ビジネス倶楽部」を開催し、地域のお客さまに対して、当行の地域密着型金融の取組み状況について広く情報発信を行っています。



◆福井銀行が有する情報、ノウハウの 積極的な発信

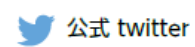
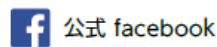
- ・インターンシップの開催
インターンシップを15回開催し、計359名の学生の方々にご参加いただきました。
- ・マナー・顧客満足度向上セミナーの開催
マナー向上・顧客満足度向上に向けたセミナーを20回開催し、19先計650名のお取引企業の社員の方々にご参加いただきました。

◆ミニディスクロージャー誌の発刊

当行の業績や取組み内容を掲載したミニディスクロージャー誌を発刊しています。

◆SNSでの情報発信

Facebook、Twitter、LINEを活用し、当行の取組内容の情報発信を行っております。



福井銀行



福井銀行



ヒロちゃんが行く!
ふくい食巡り



ふくちゃん

◆観光活性化プロジェクトチーム「ふくジェンヌ」 による観光ガイドブックの発刊

観光活性化に向け、女性プロジェクトチーム「ふくジェンヌ」が地元ならではの視点で福井の魅力盛り込んだ観光ガイドブックを発刊しました。

